



冬眠しないクマ「穴持たず」に注意!

ツキノワグマ出没注意報(冬期) 発令中

今年は、冬に入ても冬眠しないクマ「穴持たず」が多いため、12月の目撃件数が過去最多の71件となっています。

また、3月以降は早期に冬眠から目覚めるクマが増え、目撃件数が増加するおそれがあります。

穴持たずや早期に冬眠から目覚めるクマへの注意が必要なことから、下記のとおり県内全域にツキノワグマ出没注意報を発令しています。冬のクマから体と命を守るために3箇条や、裏面には事故を減らすための10箇条をまとめました。

注意すべきポイントを確認し、クマに出遭わないよう対策をお願いします。

区域・期間 県内全域 「ツキノワグマ出没注意報(冬期)」 令和8年1月16日～令和8年4月15日

!**冬のクマから体と命を守るための3箇条**

倉庫侵入被害(玄ソバ、玄米)



カキの木被害



① 誘引物に注意

クマはエサを求めて里地に下りてきます。
誘引物がないか住宅周辺を確認してください。

② 建造物侵入に注意

冬になると里地でもだんだんとエサが少なくなります。
若く経験の少ないクマなどはこれから山に入って冬眠穴を見つけることが難しいため、空き家や倉庫などに侵入する可能性があります。戸締まりや定期的な見回りが重要です。付近にクマがいる危険性もあるので、周辺を観察し、音をたててから近づくようにしましょう。



③ フィールドサインに注意

フィールドサインとは、クマが出没した後に残されている足跡や糞などの痕跡のことです。
雪が積もればフィールドサインが見つけやすいです。また、建物に頻繁に出入りしている場合は、周辺に痕跡がたくさん残されています。痕跡や目撃情報は常に地域で共有しましょう。

!**クマに出会わないためにできること**

1 目撃情報を調べましょう

クマの目撃マップは
こちら↓



クマがどこにいるのか知ることが大切です。

県警のポリスメールや自然保護課の目撃マップを活用しましょう。

2 クマ鈴やラジオなど音のするものを身につけて行動しましょう

クマの生息している場所では、**クマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、**
クマに自分の存在を知らせましょう。藪や河川敷に入る際は、事前に花火を打つ
など追い払いを行いましょう。

各地方振興局でクマ鈴を貸出します

福島県ホームページ

3 朝夕の登山や散歩、農作業を行う際は、複数人での行動、クマ鈴等の携帯を徹底しましょう

朝夕はクマが最も活発に行動する時間帯です。朝夕の入山や農作業には十分注意しましょう。

4 屋外に生ゴミ・野菜・未収穫の果物・ペットフードを置かないようにしましょう

クマは**餌に対する執着が非常に強い**です。一度人間の食べ物や生ゴミの味を覚えてしまうと、
頻繁に人里へ出没してしまうため、クマの食べ物になるものを置かないようにしましょう。
また、畜舎や小屋に侵入し、餌を食べることもあるため、侵入されないよう対策しましょう。

人身事故を減らすためにできること10箇条

1人1人が普段の生活から気をつけることで、人身事故を減らすことが出来ます。
今年は通常の年とは状況が異なることを踏まえた行動をお願いします。

- ①特に日の出前、日没後には徒步による外出を控え、また日中でも鈴など音の出るものを持行してください。山間地では隣の家に行く際にも注意が必要です。
- ②子供たちの通学路、お年寄りの散歩コースの安全を今一度確認してください。また、校庭の周囲や自転車置き場が雑木などに囲まれている場合はクマが潜んでいる可能性が高くなります。下刈りや不要な枝を切り落とすなど見通しが利くようにしてください。
- ③河川敷がクマの移動ルートや潜み場所になっています。ヤブなどで見通せない河川敷には昼夜を問わず絶対に近づかないでください。また、河川敷につながる林やヤブも里地出没のルートになっています。河川との位置関係を考え、隣接する農地などの出入りの際にも十分注意してください。
- ④犬の散歩時に人身事故が発生しています。ヤブや林などで見通しの利かない場所を通るルートは極力避けてください。
またヤブに覆われた小川などに架かっている橋の上も危険なことがあります。なるべく人通りや車通りの多い時間帯に変更してください。
そしてペットも大切な家族の一員です。鎖に繋いで飼っている場合は、クマだけではなくイノシシが襲う事故も発生しています。夜はなるべく屋内で飼養するか、リスクが高い場合は電気柵などで囲うようにしましょう。
また食べ残しのエサは必ず処分してください。ドングリはクマだけではなく、イノシシにとっても重要なエサになっています。
- ⑤住宅や敷地内で物音がしても、不用意に外に出たり、窓を開けて確認したりしないようにしてください。
また、敷地内に足跡や立木についた爪痕、草を分けたような跡、糞などの痕跡がないか定期的に確認してください。
駐車場での事故も発生しています。車に近づく前に、周辺に潜んでいないか注意するとともに、パンパンと手を叩いてクマに存在を知らせるなどしてください。
- ⑥人気のない畑や果樹園などの見回りの際には車両を使い、降りる前に周辺の気配に注意し、必要なら花火などで追い払ってから近づいてください。夜間の見回りは止めましょう。キャビンのないトラクターでの事故も発生しています。
- ⑦腹を空かせたクマは、カキやクリなどの未利用果樹木、ソバ畑、トウモロコシ畑などの野菜残渣、畜舎の配合飼料、鶏小屋、倉庫内の米ぬかや穀類、ベンキやグリース類などに誘引されます。
またガラス窓を割って室内に侵入する事故も発生しています。カーテンを引いたり、夜間は雨戸などを使ってください。空き家などに潜んでチャンスを伺っていることもあります。戸締りに注意してください。
- ⑧堅果類が不作時のキノコ狩りはリスクが非常に高く、たとえ鈴などを携行していても命がけになります。注意してください。
- ⑨林道の補修や架線の点検などの山地作業時、河川敷の刈り払いや環境調査時にも事故が発生しています。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、花火を使っての追い払い、クマスプレーの携行、またリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。
- ⑩登山やサイクリング、キャンプなどの野外活動、山間部の名所旧跡での観光、緑の多い公園での散策もリスクが高いと考えられます。最寄りの役場や警察署で周辺の出没状況を確認し、やはりリスクが高いと判断されたら中止するようお願いします。